

「令和8年度県民等参画促進事業委託業務」への質問回答

令和8年7月3日
沖縄県土木建築部首里城復興課
企画班

No	質 問 内 容	回 答
1	仕様書2ページ (1) ② 木材端材を活用した体験型プログラムについて、参加者一人ひとりが端材を使用して制作する形式を想定しているのか、それとも端材の活用方法は提案によるものとの理解でよろしいでしょうか。併せて、端材の数量を踏まえた実施に当たり、留意すべき点があればご教示ください。	原則提案によるものとしますが、多くの受講者が主体的に参加できる内容とします。 端材の在庫については、受託者決定後に調整となるため、複数案想定しておくのが望ましいです。
2	仕様書2ページ (1) 昨年度の出前講座教材の部数を教えてください	昨年度は、700部程度となっています。
3	仕様書3ページ (2) ③ オンライン配信について、「関係機関から要望があった場合に対応できるよう、予め必要な体制を準備すること」とありますが、配信先として想定されている媒体（配信プラットフォーム）や配信先がありましたらご教示ください。	受託者決定後に関係機関との調整になることから、特殊なプラットフォームでない限り、要望があれば対応できるようにする必要があります。
4	仕様書3ページ (2) ⑥ 「関係機関から追加要望があった場合は、最大2名まで追加配置に対応すること」とありますが、追加配置に係る費用については、提案金額の範囲内で見込むものとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおり、2名の追加配置についても提案金額の範囲内で見込む必要があります。